

文化七尾



第52号



能登立国一三〇〇年
今なお万葉の歴史的

風光の漂う七尾

香島より熊来をさして漕ぐ船の

楫取る間なく都し思ほゆ

大伴家持(巻十七・四〇二七)

海山の幸に恵まれ能登の人々は、豊かな生活の足跡をその歴史に残してきた。そして、今から一三〇〇年前の養老二年(七一八年)、律令体制のもと既に成立していた越前国から、羽咋・能登・鳳至・珠洲四郡を割いて能登国が設けられ、この七尾の地に国府が置かれた。また、奇しくもこの年は、後に万葉集において能登を詠んだ越中国司大伴家持の誕生の年とも重なる。

熊木川の河口に佇み西湾に向かえば、遠く左に机島、中央に能登島大橋、右に和倉温泉が浮かび、万葉の時代から現代に至る一三〇〇年間の歴史の風光が漂う。そして、机島の傍らより、家持の能登巡行の一团の船がゆっくと河口に向かってくる様子が偲ばれる。

(写真・文 谷口 忠)

平成30年度 七尾市文化協会定期総会

平成30年度の七尾市文化協会定期総会が5月19日に七尾市文化ホールで開催されました。総会記念講演会では、「いのちの導火線」と題し、願正寺住職で七尾美術作家協会会長の三藤観映先生による講演がありました。



講師
願正寺 住職
七尾美術作家協会 会長
三藤 観映先生

自身が感銘を受け揮毫した、脳性麻痺の少年と母親が作った詩を紹介し、その少年の思いが我が命の導火線になって書への心を燃やす

ことになったこと。また、七尾高校で書道を指導された生徒の例を挙げ、「積極的でもなかった彼女が書道と出会い、それが命や心を燃やすことができる導火線となって文化祭をやり遂げ、大学では書道部を創設し頑張った。文化にはそういう力があり、皆さんも命ある限り燃やし続けていただきたい。」とお話しされました。

今年度の活動テーマは、引き続き「ふるさと文化に火を灯そう!『海山・等伯・七尾城』」とし、さらなるふるさとの伝統文化の継承や後継者育成を進め、支部間交流の活発化、文化活動による地域の活性化に取り組むこととしました。

平成30年度 活動方針及び活動目標

◎活動方針

活動テーマ

『ふるさと文化に火を灯そう!「海山・等伯・七尾城」』

1 「能登立国1300年」を機会に、ふるさとの自然や歴史や伝統を継承し、さらなる文化創造の人及び地域づくりを進めよう。

2 七尾市文化協会会員が丸となって、人口減少高齢化時代に対応できる協会組織にしよう。

3 文化他団体や経済団体等との連携を進め、文化活動による地域の活性化を目指そう。

◎活動目標

1 ふるさと文化の創造

①活動テーマにそって、ふるさとの伝統文化の継承を進めるとともに、さらなる文化の創造と活用を努める。

②「協働・異文化交流活動奨励支援事業」及び「七尾ふるさと文化の創造奨励支援事業」を推進する。

2 組織・運営の改革

①「支部間交流強化委員会」を組織し、会員相互の連携・支部間の交流の活発化を図る。

②「少子後継化委員会」を組織し、後継者の育成を図るとともに、文化の裾野を広げるムーブメントを起こす。

3 文化交流の拡大

①「能登立国1300年」を冠した事業の推進を図る。

②文化他団体等との交流を推進し、文化活動による地域の活性化に資する仕組みづくりを進める。

4 情報発信の充実

広報「文化七尾」の内容の充実を図るとともに、文化情報収集・発信に努める。

第17回 能登あかくら山田鶴浜俳句大会 兼題募集!

テーマ 「当季雑詠」 自作未発表に限ります。作品は 七尾市文化協会に帰属し、返却は致しません。 投句料 3句1組 1,000円(何組でも可) 応募・問合せ先

募集期間 平成30年8月10日(金)～9月14日(金)

募集要項を郵送します。(但し、前年度投句者) 電話またはハガキで、右記まで要項を請求して下さい。

第17回 能登あかくら山田鶴浜俳句大会実行委員会 〒929-2121 七尾市田鶴浜町へ-10-1 小谷内 和央方 TEL・FAX 0767-68-3443

七尾まだら総おどり交流大会

七尾まだらをみんなで楽しみましょう!

- 日 時** 平成30年7月15日(日)
16:30~17:30
- 会 場** 七尾市府中町御祓川河畔 長生橋~慶応橋間
- 参 加 者** 一般市民 他
- 参 加 費** 自由
- 主 催 者** 能登のまだら伝統芸能交流大会実行委員会
- 共 催 者** 七尾市文化協会
- 後 援 者** 七尾まだら保存会・輪島まだら保存会・七尾まだら伝承会
七尾まだら愛好会・七尾まだら会・金沢七尾まだら愛好会
中能登町まだら教室
- 後 援 者** 七尾市教育委員会・七尾商工会議所・七尾市町会連合会
一般社団法人ななお・なかのとDMO・和倉温泉観光協会
北國新聞社・テレビ金沢・ラジオななお
- 申込方法** (1) 官製ハガキ等に次のことを記入して下さい。
①参加出演グループ名
②上記代表者氏名・住所・電話番号
(2) 申込・問合せ先
〒926-0031 七尾市府中町口部90番地
事務局 杉田 安生 宛
TEL (0767) 52-1513
(3) 締切 平成30年7月3日(火)



第77回 七尾港まつり協賛 第40回「軽音楽の夕べ」

七尾港ベイサイド ミュージック2018

『潮風のメロディー』

夏の夕方、潮風に吹かれながらすてきな音楽やダンス
を楽しみませんか?

日 時 平成30年7月15日(日) 雨天時中止
16:30~18:30 (13:00判断)

会 場 マリンパーク特設舞台

【出演団体】

- ◎吹奏楽 七尾吹奏楽団 ◎バンド 「502」
◎ダンス 古典フラブアリリ ◎歌謡 歌謡小菊会
◎合 唱 俊友会合唱団、ドルチェ・ママ ※順不同

入場無料



お問合せ先 七尾港ベイサイドミュージック実行委員会
☎090-2122-7035 70ラブサウンズ 澤井 裕行

第14回 能登合唱祭

能登立国1300年!

日 時 平成30年9月23日(日・祝)
13:00~16:00(開場 12:30)

場 所 サンビーム日和ヶ丘 大ホール

入場
無料

能登立国1300年を祝って、各地の合唱団がそれぞれ
の地域にちなんだ歌も披露します!



写真:羽咋混声合唱団コールフロイデ

主催/七尾市文化協会

《お問合せ先》能登合唱祭実行委員会
実行委員長 橋屋 愈 ☎090-8261-3144

第77回 七尾港まつり協賛

第24回

七尾美術作家協会展

会 期 平成30年7月13日(金)~16日(月・祝)
9:00~17:00(最終日は16:00まで)

場 所 石川県七尾美術館 市民ギャラリー
(無料)

今回は、「能登立国1300年」という事で、当協会では「ふる里を想ふ」をサブテーマに掲げ、多くの方々に
関心を持っていただく事を願い、会員各自でできる限りの
作品を発表したいと思っています。皆様のご来館を
お待ちしております。



《お問合せ》
七尾美術作家協会 会長 三藤 観映 (0767) 52-4051

事業名	日時	主催者・会場名	内容
48周年発表会 七尾民謡・夏のお涼み	7月8日(日) 12:00~15:00	主催 七尾民謡会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	特別出演としてお迎えする、浅野江里子さんの民謡日本一の唄声に触れてみませんか。 入場料/1,000円 ☎090-7081-1720 七尾民謡会 寺口 啓作
七尾茶道会 月釜	7月15日(日) 9:00~14:00	主催 七尾茶道会 会場 池田家	打水の涼やかな茶庭を眺めながら一碗お楽しみ頂きたく皆様のお越しをお待ち申し上げます。 茶会料/1,500円 ☎52-6403 須曾 宗裕
第16回石川県 NOTOピアノコンクール	8月4日(土) 14:00~19:30 8月5日(日) 9:30~17:00	主催 石川県NOTOピアノ コンクール実行委員会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	今回で16回目を迎える本コンクールは、結果にとらわれず、お互いに刺激し合い、励まし合って心を育て、ピアノの演奏の質を向上させることを目的としています。参加者が日頃の練習の成果を披露します。是非聴きにいらして下さい。 入場料/無料 ☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 株式会社ミヤコ内
第23回 「九月十三夜陣中の作」 全国詩吟大会	9月16日(日) 9:00~17:00	主催 吟道錦城流総本部 会場 七尾市文化ホール 大ホール	七尾城ゆかりの上杉謙信作「九月十三夜陣中の作」を吟ずることにより、往時の武将の風懐を偲び、日本最大級の山岳城でもある七尾城跡を広く紹介するとともに市民への詩吟の普及向上を目指します。詩吟愛好者のすばらしい声をどうぞお聴きください。 入場料/無料 申込方法/第23回「九月十三夜陣中の作」全国詩吟大会実行委員会 矢田郷地区コミュニティセンター内 52-5240 ☎62-2408 前濱 錦城
=作品募集= 集え傑作・伝われ感動! 第64回 七尾市美術展覧会	作品受付 ①学生の部 10月7日(日) 14:00~15:00 ②一般の部 10月23日(火) 16:00~18:00	主催 七尾美術作家協会 受付 会場 ①学生の部 ワークパル七尾 ②一般の部 七尾美術館	■募集要項・応募方法(詳細は応募要項参照。7月下旬下記箇所を設置予定。) 募集要項・応募用紙は、七尾市役所受付、七尾美術館受付、七尾市文化協会(池田家)、田鶴浜コミュニティセンター、中島コミュニティセンター、能登島コミュニティセンター、北國新聞社七尾支社、カメラのキタムラ。 ☎七尾市松百町カ部2 橋本義則 ☎53-3013

がんばっとるげん

◆◆会員団体を紹介◆◆

中島水引教室

私たち「中島水引教室」は、水引で物作りをしています。一人ひとりの個性が出るので同じ作品でも性格も出て、とても楽しい雰囲気になります。お互いに教え合い、手先を使うので脳の活性化にもなっています。

水引は全く難しくありません。体験も出来ますので、気軽にお立ち寄り下さい。中島文化センターでお待ちしています。

練習日 毎月第2・4火曜日
場所 中島文化センター
連絡先 中川 絹子 TEL 0767-53-4750



第五十回七尾文芸のつどい

とき 平成三十年六月二十四日(日)

ところ 七尾市文化ホール

【川柳の部】

最優秀賞 (七尾市長賞)

うろろうも明日は我が身と笑えない

羽咋郡 池田 洋子

【短歌の部】

最優秀賞 (七尾市議会議長賞)

失敗は今日もこんなに新鮮でひりひりと私を生き返らせる

輪島市 中川 計介

【俳句の部】

最優秀賞 (七尾市教育委員会教育長賞)

半世紀つなぐつどの涼しさや

七尾市 坂下 成紘

発行 七尾市文化協会
〒926-0021
七尾市本府中町モ64池田家内
TEL 53-0596 FAX 54-8550
Eメール: mail@bunka-nanao.jp
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員 谷口忠 家村静江 平田嘉則 小谷内和央 瀬戸茂雄
発行日 2018年7月5日

会員のみなさまへ

※『文化七尾』次回53号は平成30年10月5日発行となります。

原稿締切は、平成30年9月8日です。

表紙題字：清水 聖鵬 表紙：谷口 忠 (ささゆり短歌会)